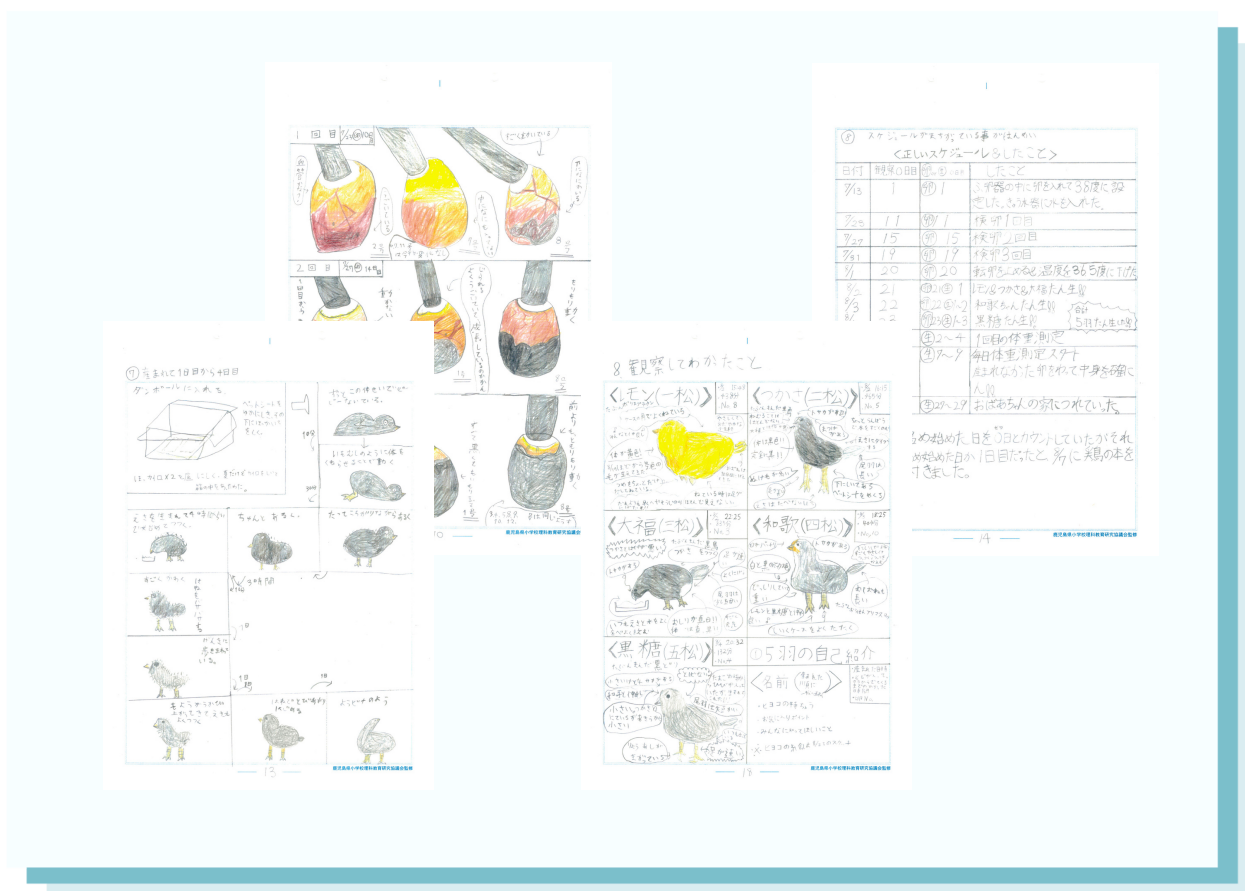


センバス・グループ賞

小5の夏 ひよこが産まれました ～卵から育てたかわいい5羽の記録～

八重尾 福／八重尾 はる | 鹿児島県 霧島市立向花小学校 5年



〈選考理由〉

「卵からひよこを孵化させる」というテーマを、単なる観察ではなく“いのちを尊重する研究”として丁寧に進めている姿勢がすばらしいです。孵化の段階から飼育環境づくりに至るまで、ひよこの負担を最小限に抑えるための工夫が随所に見られ、研究者としての誠実さが感じられます。

また、ひよこたちが後々コロニーで自然になじめるように環境を整えるなど、生き物の行動や習性をしっかり考慮した計画も見事です。すぐに情報が得られる時代にあって、あえてインターネットに頼らず、図鑑などをもとに自分で考え、調べ、試行錯誤を重ねた姿勢は、探究の本質をよくとらえています。

さらに、孵化しなかった卵についても丁寧に確認し、記録として残している点には、命と真正面から向き合う真摯さが表れています。生まれたひよこたちの性格や相性を観察するなど、研究を“その後”につなげているところもすばらしい発展性です。

科学の枠を超えて、「生き物とともに学ぶ」という探究の原点をしっかりと感じさせてくれる研究でした。
にわとりに育った5羽のことも引き続き見守っていつてあげてください。

顧問審査員特別賞

おにいちゃんのせいで

小窪 大翔 | 鹿児島県 鹿児島市立喜入小学校 1年

No. 1

ッ	も	よ	り	す	り	ゲ		ッ	っ	ん	ゃ					
く	か	い	ず		あ	ー		か	ひ	は	ん	ぼ	一	お		
ッ	て	の	ッ	で	い	の		こ	ろ	、	が	く	ね	に		
そ	ま	で	と	お	で	じ		に	の	よ	い	に	ん	い		
お	せ	、	お	お	、	ゃ		た	ば	く	ま	は	こ	ち		
ッ	ん	パ	お	に	ひ	ん		バ	だ	けん	す	三	く	ゃ		
		ン	き	い	っ	ば		な	よ	か	ぼ	つ	ほ	の		
		チ	く	ち	り	ん		い	ッ	を	く	う	お	せ		
		ヤ	ッ	ン	あ	や		で		し	と	え	の	い		
		キ	ち	ん	い	お				ま	お	の	お	ひ		
		ツ	か	は	に	や				す	に	お	ひ	ろ		
		ク	ら	ば	な	つ					い	に	と			
		を	も	く	り	の					ち	い				
		し	つ	よ	ま	と					ゃ					
		て														

14×15

月 日

よるび

1. おにいちゃんとは「おにいちゃん」のことです。おにいちゃんとは「おにいちゃん」のことです。
2. おにいちゃんとは「おにいちゃん」のことです。おにいちゃんとは「おにいちゃん」のことです。
3. おにいちゃんとは「おにいちゃん」のことです。おにいちゃんとは「おにいちゃん」のことです。

〈選考理由〉

この賞は、部門の枠にとらわれず、感動的な作品、特に親子や兄弟の絆や愛・優しさが感じられる作品を対象に毎年選ばせていただいています。

3歳年上のおにいちゃんとの毎日をえがいた大翔さん。けんかをしたり、叱られたりもするけれど、優しい兄へのあこがれが素直に綴られています。「おにいちゃんのせいで、ぼくはあまえんぼうです。」という言葉には、お兄ちゃんが大好きで尊敬している気持ちと、早く追いつきたいのにまだ甘えてしまう現状への悔しさが一緒に表れていて、読んでいて微笑ましくなりました。

そんなある日、大好きなおにいちゃんが病気で長く入院してしまいます。大翔さんは「おにいちゃんのせいで、ぼくはさみしいきもち」になりながらも、お兄ちゃんを心配して気づかう様子からは、確かな成長が見えました。

おにいちゃんのせいで怒ったり、悲しくなったり、嬉しくなったり。にぎやかな毎日の中で、大翔さんは少しずつ強く、優しくなっています（「ぼくのこころは、いつもいつもいそがしいです。」）。いつか大翔さんも、誰かの「やさしいおにいちゃん」になっていくはず。これからの成長を楽しみにしています。